

ニューズレター雪氷北信越

No. 30 平成5年3月10日

日本雪氷学会北信越支部発行

目次

講演会・講習会・学習会報告／支部賞／名簿の訂正／機関誌／その他／第6回
総会、研究・製品発表会案内

講演会

新潟地区講演会報告

新潟地区講演会が下記のとおり開催された。馮清華副教授はチベット高原における水河湖決壊洪水について、美しいスライドを用いて興味深く説明された。また、蘭州水河凍土研究所前所長の謝自楚教授は中国における雪氷研究の現状と展望について講演され、日中両国間の共同研究が今後益々重要になり、さらに発展するであろうことが強調された。それぞれ、長岡技大陸助手や長岡雪氷研中尾研究室長の通訳により、活発な討議が続けられ、時間を30分も超過するほどであった。講演会終了後、謝・馮御夫妻を囲んでなごやかな懇親会が開かれた。
(東幹事記)

日 時：2月22日（月）15:30～17:30

場 所：新潟県教職員互助会館「けさじろ荘」

テーマ：チベット高原における水河湖決壊洪水とその研究、

講師 蘭州水河凍土研究所副教授 馮 清華

中国における雪氷研究の現状と展望

講師 蘭州水河凍土研究所教授 謝 自楚

参加者：22名

講習会

富山地区講習会の報告

「積雪断面観測講習会」

富山地区の積雪断面観測講習会が、次の通り行なわれました。

日 時：平成5年1月30日（土）10時～16時

場 所：富山県林業試験場林業普及センター

参加者：15名

講 師：川田邦夫（富山大学），飯田肇（黒部市吉田科学館）

内 容

今年も暖冬寡雪で開催が可能かどうか心配されましたが、幸運にも前日に降雪があり、よいコンディションで講習を行なうことができました。今回は、15名と多数の方に参加していただき、また参加者の顔ぶれが多彩だったのが印象的でした。会場は林業試験場にふさわしい総木造のすばらしい施設で、室内講義では木の香りにつつまれた環境の中で活発な情報交換もでき、有意義な1日でした。

講習内容は、午前中に室内で積雪断面観測全般の紹介が資料を使って行なわれ、昼食後午後は、場所を雪の多い芦峯寺地区に移して実地講習が行なわれました。実地講習内容は、積雪層位、密度、雪温、粒度、硬度、含水率の測定等です。積雪は約1mで、新雪、しまり雪、ざらめ雪と、各種雪質を観察でき、初めての参加者にも断面観測の概要を掘めていただけたことと思います。

学習会	石川地区第4回学習会の報告
平成5年3月1日（月）13：30～15：30，金沢大学工学部において石川地区学習会が開かれた。講師は，金沢大学工学部・村本健一郎先生による気象関係におけるビデオカメラとコンピュータによる画像解析を用いた降雪の観測システムと観測結果について，OHPを用いて大変興味深く話され，参加者は8名で活発なディスカッションもあって有意義な学習会でした。 （高瀬記）	

学習会	福井地区学習会の報告（H4年度第2回）
下記の通り開催しました。 日 時： 平成5年2月16日 13:30～17:00 場 所： 福井県雪対策技術センター 内 容： 1．最近の利雪新雪の状況 話題提供 福井県雪対策技術センター 深川専門員 全国的な傾向についての資料提供と解説 2．路面凍結についての最近の話題 話題提供 福井県雪対策技術センター 杉森 積雪地域における交通事故防止法作に関する調査（運輸省新潟運輸局・調査委員長長塚新潟大学教授，S62）の紹介 3．PIP融雪の施工報告 話題提供 福井県雪対策技術センター 宮本専門員 福井市三郎丸地係における施工報告と現場見学 参 加 者： 16名 （担当：杉森正義）	

支部賞	支部賞の授賞候補者推薦期限迫る
ニューズレターNo.26（1992年7月10日発行）にてお知らせしましたように，北信越支部表彰規定ができ， 1）克雪・利雪に有効な新しい技術を確立された方へ送られる「雪氷技術賞」 2）長年にわたる観測データの集録など，雪氷に関する地道な貢献を行なわれた方，もしくは雪氷研究に関して斬新なアイデアを生みだされた方へ送られる「大沼賞」 3）支部の発展に著しい貢献をされた方へ贈られる「雪氷功労賞」 の3賞が設定されました。規定によりますと1993年度の授賞候補者の推薦は来る4月10日迄に，支部の理事及び評議員が行なうということになっております。候補者にお心あたりの方は期限に間に合うようにお近くの理事あるいは評議委員へお申し出下さい。	

会員名簿

支部会員名簿の訂正

『雪氷北信越10号』に掲載致しました、会員名簿に誤記がありました。会員のみなさまにご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

37頁	誤	中川 正之	〒939	富山県富山市大町1区北部85
				金沢女子短期大学学長代理
	正	中川 正之	〒939	富山県富山市大町1区北部85
				金沢女子大学学長・金沢女子短期大学学長
36頁	誤	下村 忠一	〒944	新潟県新井市錦町2-6-8
				建設省土木研究所新潟試験所
	正	下村 忠一	〒107	港区元赤坂1-5-12 サンミヤナビル3階
				(社)雪センター

※既に関東以西支部へ移動

機関誌

『雪氷北信越11号』発行のお知らせと自由投稿文・広告の募集

北信越支部編集委員会では、平成5年5月30日に『雪氷北信越11号』の発行を予定しております。つきましては、下記の通り、随筆・評論的な自由投稿文を募集致しますので、奮って御投稿下さい。また、同誌に掲載する広告を募集致します。『雪氷北信越6号』最終頁を御参照の上、ご連絡下さい。

1.締切り：平成5年5月7日(金)必着 2.字数：3000字程度(用紙は自由)

3.問合先：〒940-21 新潟県長岡市上富岡町1603-1

長岡技術科学大学機械系 東 信彦 (0258-46-6000 内線7120)

その他

『ニューズレター雪氷北信越』についてお願い

雪氷学会北信越支部では、支部会員への事業の案内や報告のために、今年度は毎奇数月10日前後に、ニューズレターを発行いたします。原稿を、下記の書式(できるだけワープロ原稿)で毎奇数月5日までに事務局にお送り下さい

※書式 A4

左右マージン : 25mm

1行文字数 : 約36文字

行間 : 約5.5mm

行数 : 制限は設けないが手短に

なお、MS-DOSのテキストファイルの型式で保存したフロッピーでの投稿も歓迎いたします。

ニューズレターに関するお問合せは

長岡技術科学大学機械系 東 信彦 電話0258-46-6000 内線7120まで

第6回北信越支部総会および研究発表会・製品発表検討会のお知らせ

支部総会および発表会は、隔年で長岡市以外で開催しており、本年は金沢大学工学部高瀬信忠、宇治橋康行、村本健一郎各先生の御協力で金沢大学にて下記の通り開催いたします。どうぞ奮ってご参加下さい。

日時： 平成5年5月31日（月） 10:30～17:30

場所： 金沢大学工学部秀峯会館会議室

〒920 金沢市小立野2-40-20 電話0762-61-2101

（JR金沢駅より工学部前まで、バス約20～25分）

プログラム： 10:30～12:00 研究発表会

12:45～13:30 総会

13:45～17:30 研究発表会・製品発表検討会

17:30～ 懇親会（同秀峯会館）

参加費：無料（ただし、懇親会参加費は3000円）

概要集：発表予稿集掲載の『雪氷北信越11号』を当日配布します。

（日本雪氷学会会員：無料、非会員：1000円）

参加申込み要領

参加申し込み：5月 7日（金）必着 （総会・発表会・懇親会）

発表申し込み：4月19日（月）必着 執筆要領は発表申し込みを

予稿原稿提出：5月 7日（金）必着 された方に送付。2頁以内

送付先・問い合わせ先：長岡技術科学大学機械系 東信彦（内線7120）

参加申込用紙（5月7日必着）

氏 名	所 属 ・ 連 絡 先	
	〒 tel. fax.	
総 会	発 表 会	懇 親 会
参加 不参加	参加 不参加	参加 不参加

発表申込用紙（4月19日必着）

氏名（所属略記，発表者に○）	題 目
連絡先 〒	tel. fax.
発表種別（どちらかに○）	1.研究発表会 2.製品発表検討会